

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	朝来市 (282251)
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市朝来(中川)地域 (桑市区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	16.84 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10.57 ha
② 田の面積	13.41 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.42 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	2.02 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	2.15 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現在、当地区の主たる耕作農業者は5名で平均年齢は78.5歳である。内、後継者があるのは1名のみである。また、農地所有者の中から将来農業を始めようとする人も期待が持てない状況である。将来の農地の維持管理や区内の環境保全に大きな不安がある。唯一の後継者は今春から地域内で営農活動を始める予定である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

主要な作付け作物は水稲が主体で、黒大豆も栽培されている。地区内の圃場は湿田が相当あることから今後も水稲を中心とした農地の利用を継続する。一部には乾田があり、この圃場を活用した黒大豆・岩津ねぎ等の栽培を広げ全体的な農地の活用を展開する必要がある。これらの農地の状況を踏まえて、地域内の農業者の営農活動が継続出来るよう支援を行うとともに、将来の担い手については他地区の認定農業者等に農地の総合的な利活用を要請し地域の農地を守ることにする。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

地区内で継続して営農が可能な農業者及び利活用を要請した担い手に農地の集積を進める。併せて農地バンクへの貸し付けも状況に応じて検討していく。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	63.7 %	将来の目標とする集積率	85.0 %
--------	--------	-------------	--------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

利用可能な農地面積の規模が小さいことから、地域内を団地化するには限界があるが比較的圃場が集中している東側の耕地を取り組むことを考えている。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域内の農業者の営農継続年数によって目標値は変化するが、地域の営農状況から見ると、農地を集積・集約しなければならないと考えている。今後5年頃から離農が進むことから目標年度を令和12年度として見直しを行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域内の農業者の営農継続年数や要請を行おうとする担い手の応諾条件等によっては、農地バンクへの貸し付け面積、活用年次は変わってくるが、農地所有者の意向を普段からは把握しておく等の対応をとる。
(3)基盤整備事業への取組
地区内の圃場は各所で用排水路の補修が必要な状況となっている。1年を通じて安定した給水量の確保が必要な状況である。水路の清掃に多くの労力がかかるため、将来の維持管理に不安があり、パイプ給水方式を検討したい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
担い手の要請にあつては、農業に意欲がある認定農業者にお願いしたいと考えている。併せて近隣の若手農業者との情報交換を行うなど担い手の育成にも協力をする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
今後の地域内の農業の展開状況により活用できる作業は検討を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①侵入防止策の保守管理は多面的交付金を活用して、地区内農業者が主体となって作業を実施している。
- ⑦農地の保全部管理を定期的の実施するためには、農地所有者、耕作者が協力して実施する体制を定着させる取り組みの実施
- ⑧農業施設の保守管理は、区民による春季の水路の泥上げ・農道の草刈り一斉作業を行い管理に努めている。年間を通じては、農業者が主体となり農道及び農地周りの草刈り等を実施して環境維持に努めている。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認就	新規就農者A	ねぎ・野菜	0.00 ha	ha	ねぎ・野菜	1.00 ha	ha		
認就	新規就農者B	水稻	0.00 ha	ha	水稻	1.00 ha	ha		
利用者	その他農業者A	水稻	0.43 ha	ha	水稻	0.45 ha	ha		
到達	水準到達者A	水稻	5.35 ha	ha	水稻	5.35 ha	ha		
利用者	その他農業者B	水稻	0.57 ha	ha	水稻	0.57 ha	ha		
利用者	その他農業者C	水稻	0.73 ha	ha	水稻	0.73 ha	ha		
利用者	その他農業者D	水稻	0.24 ha	ha	水稻	0.24 ha	ha		
利用者	その他農業者E	水稻	0.22 ha	ha	水稻	0.22 ha	ha		
利用者	その他農業者F	水稻	0.17 ha	ha	水稻	0.17 ha	ha		
利用者	その他農業者G	水稻	0.25 ha	ha	水稻	0.25 ha	ha		
利用者	その他農業者H	水稻	0.11 ha	ha	水稻	0.11 ha	ha		
利用者	その他農業者I	水稻	0.18 ha	ha	水稻	0.18 ha	ha		
利用者	その他農業者J	水稻	0.14 ha	ha	水稻	0.14 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	13経営体		8.39 ha	0 ha		10.41 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

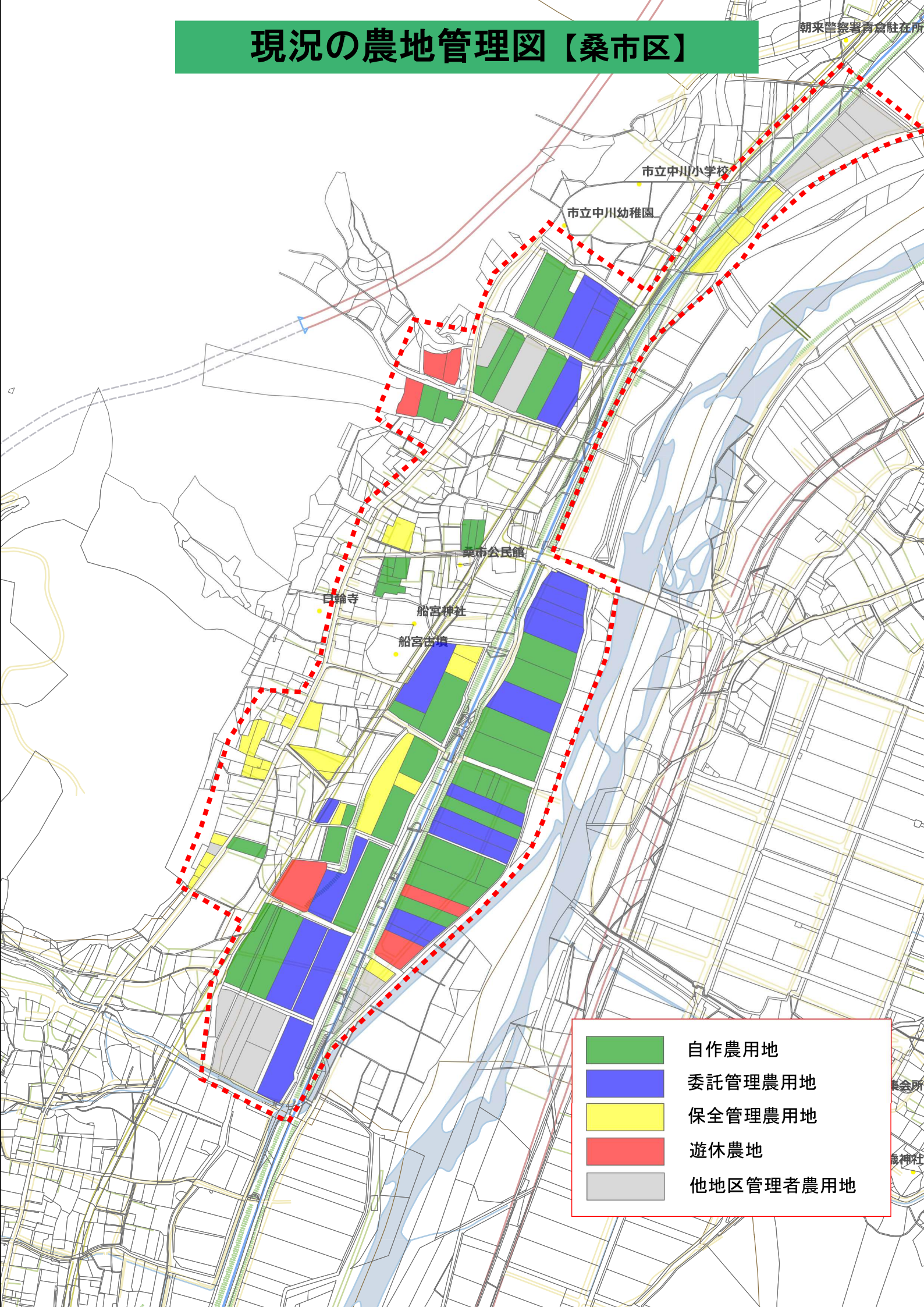
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。



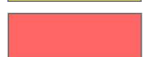

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

現況の農地管理図【桑市区】

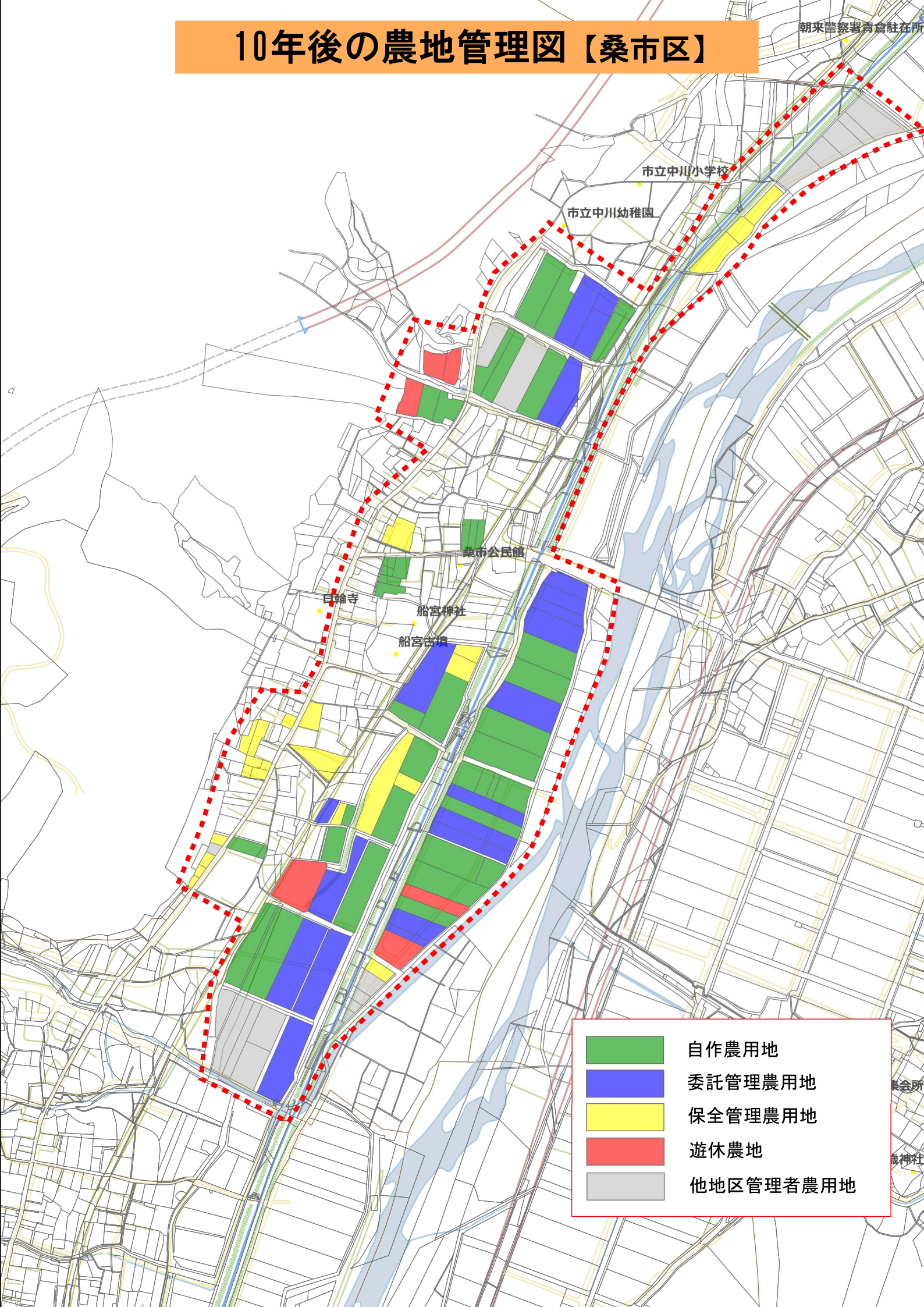
朝来警察署青倉駐在所



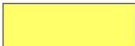




-  自作農用地
-  委託管理農用地
-  保全管理農用地
-  遊休農地
-  他地区管理者農用地

10年後の農地管理図【桑市区】

朝来警察署青倉駐在所



	自作農用地
	委託管理農用地
	保全管理農用地
	遊休農地
	他地区管理者農用地